

H29年度（E班） 認知症サポーターグ ループ中間報告

認知症の人とその家族、霧島市民が安心・安全に
生活(暮らし)できるまち きいしまを目指して

【目的】

地域の中で認知症の**人**やその家族が、住み慣れた地域(霧島市)で自分らしく安心して生活(暮らし)が続けられるよう、地域住民・商業施設・交通機関・学校・金融機関等へ正しい知識の理解普及と応援者の養成を行う。

H29年度中間報告

①市民向け講座の実施状況

霧島地区(9/14) 参加数 21名 ・ 隼人地区(9/19) 参加数12名

溝辺地区(9/22) 参加数 名

年内は、牧園地区(10/17)・福山地区(10/19)・国分地区(11/16)・横川地区(11/21)

福山地区(12/12)・牧園地区(12/14) の予定です。

また、福祉祭りでは、午前・午後の開催予定で調整中。

②学校向け講座の実施状況

夏休みキッズサポーター養成講座開催(8/25)

社会福祉法人 豊生会 榎城児童クラブ 参加数 15名 紙芝居・クイズ方式で開催。(◇)

牧園小学校(10/6)疑似体験を通じて認サポを開催。

H30年度に向けて、教頭会・校長会に認サポについて、交渉中。

冬休み・春休みに向けての、児童クラブ(学童)にキッズサポーター養成講座を、計画中です。(◇)

認知サポーター養成講座(隼人地区 9/19)



キッズサポーター養成講座(8/25)



H29年度中間報告

③ヒトココ(人命探知機)の普及と活用による見守りネットワーク

現在では、ヒトココを使つての模擬訓練は未定。どのように普及・活用をしていくか再度、検討中。

模擬訓練に際しては、自己満足で終わらないように、地域連合会各事業所・地域住民・消防署・警察署・行政が参加して、模擬訓練を実施していく必要があるのではないかと思います。再度、見直しを行っています。

④認知症キャラバンメイトフォローアップ

市民向け講座での、各地域のキャラバンメイトへ講師として依頼を随時行っている。

また、キャラバンメイトは霧島市で約130名所在している中での、キャラバンメイトのフォローアップ研修については、今年度中の開催を現在、研修内容を検討中。

H29年度中間報告

5. 認知症の人にやさしい図書館づくり

9月1日より、1か月間 国分図書館にて、玄関先ブースを設けての開催となりました。

図書館職員さんの、ご協力により、まずは開催することになりました。(◇)

図書館職員さん、ありがとうございました。(◇)

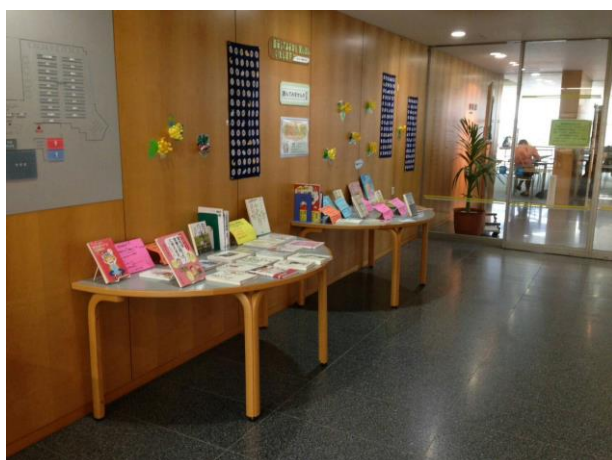
今後は、図書館職員さんへの、認サポの講習依頼や福祉祭りでの、図書館づくりを再度検討中。(例)福祉まつりでは、再度、図書館では、9月に行った際の図書展示、福祉まつりの場所では、介護職員さんが今まで読んでいた本の展示etc。

9月23日 アルツハイマーデーでの啓発活動

今年度は、AZIはやと店・マックスバリュ国分店・コープ国分店

3か所で行いました。啓発活動にご協力いただきありがとうございました。

国分図書館(認知症にやさしい図書館)



国分図書館(認知症にやさしい図書館)



認知症にやさしい図書館(のぼり旗)



アルツハイマーデー啓発活動(9/23)



アルツハイマーデー啓発活動(9/23)



アルツハイマーデー啓発活動(9/23)

